

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	保健福祉部
課室名	生活支援課

予算	款	項	目	決算書
	3	3	2	118 頁

目 名	
児童措置費	

事務事業名称	
児童福祉運営事業	

1. 概要

目的	就学前児童及び保護者の交流の場、育児相談の場、情報交換の場の設置	対象	保育に欠けない児童及び保護者
事業概要	<p>○次世代育成支援対策交付金事業・・・地域子育て支援センター事業 交流の場提供、講習会開催、情報提供、相談業等 ・実施施設2カ所 直営：清川町子育て支援センターつくしんぼ、緒方子育て支援センターつどいのひろばちゅーりっぷ 犬飼町子育て支援センターゆうゆうキッズ 委託：みえまち子育て支援センターやしの実ひろば、おおの子育て支援センター子育てひろば”ルンるん”</p> <p>○地域子育て創生事業・・・家庭訪問型子育て支援事業 育児に悩みのある親の話の傾聴や育児・家事を共同して行うスタッフの派遣により、育児期の孤立感や 育児不安の解消を図るための支援</p>		

臨/経	事業名	事業内容 (主な経費等)		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	次世代育成支援対策交付金事業	利用者数 6225人	委託料	8,710	8,710	3,462			5,248	3
臨時	地域子育て創生事業	利用者数 21人	委託料	2,590	2,590	2,590				3
計				11,300	11,300	6,052	0	0	5,248	

2. 指標設定

成果指標	指標名	受け入れ態勢の充実	目標年度	H26	指標の設定理由				
	数値	5ヶ所			豊後大野市キラキラこどもプランの数値目標として設定しているため				
活動指標	指標	a	情報の発信・周知	b	職員研修の推進	c	相談業務の充実	d	ネットワーク化の推進
	数値	目標	年24回	目標	年2回	目標	随時	目標	年2回

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
受け入れ態勢の充実	ヶ所	5ヶ所	5ヶ所	5ヶ所
		100.0%	100.0%	100.0%

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 情報の発信・周知	回	24回	24回	24回
		100.0%	100.0%	100.0%
b 職員研修の推進	回	2回	2回	2回
		100.0%	100.0%	100.0%
c 相談業務の充実	回	—	285回	312回
		—	—	—
d ネットワーク化の推進	回	2回	2回	2回
		100%	100.0%	100.0%

4. 課題と対応

課題
支援センターのネットワーク化の推進
対応（改善点等）
情報を共有するため、定期的に連絡会議を開催している

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

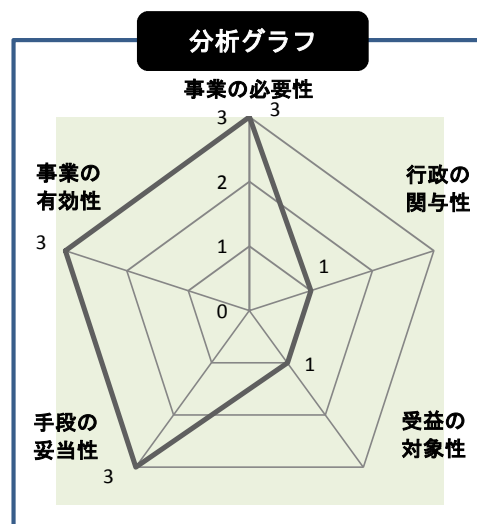
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		6,132	8,911	11,300	11,300
財源内訳	国費			3,462	3,397
	県費	4,088	6,274	2,590	2,590
	市債				
	その他				
	一般財源	2,044	2,637	5,248	5,313
うち経常		2,044	2,637	5,248	5,313
事業費に係る人件費		1,061	1,067	1,095	1,075

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
国・県の補助事業であり、当面現行で推移するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 保育に欠かせない児童の福祉の向上が求められている
② 行政の関与性	責任領域の精査	1 民間でも取組が可能である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 保育に欠かせない児童とその母親が対象となっているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 ニーズに対応するための職員研修・相談業務及びネットワーク化は適切な手段であると判断できるため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 計画どおり5ヶ所設置しており利用者のニーズを満たしている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	常に活動体制等の検証を図ること